宗像市地域公共交通計画策定業務委託　仕様書

１．委託業務名

宗像市地域公共交通計画策定業務

２．履行期間

契約締結の翌日から令和５年２月２８日まで

３．業務対象区域

宗像市全域

４．業務の目的

宗像市内の地域公共交通の利用実態や市民・来訪者の移動実態を調査するとともに、統計資料等から地域の状況を整理し、持続可能な公共交通網の構築に向けた基礎資料の収集及び問題点・課題の分析を行うもの。また、その結果をふまえ、宗像市の地域公共交通確保維持に向けた基本方針や目標を達成するために実施すべき事業をとりまとめた地域公共交通計画を策定するもの。

５．業務内容

（１）現状整理

①地域状況の整理

国勢調査や宗像市統計、その他国等が公表する統計資料等をもとに、本市の地域状況（人口特性、人口分布、生活利便施設立地状況等）を整理する。

②公共交通資源の状況整理

国土数値情報や市・公共交通運行事業者の情報等から、市内の公共交通資源の運行状況を地図上等に整理する。対象とする交通モードは、鉄道、路線バス、ふれあいバス、コミュニティバス、オンデマンドバス、乗合タクシー、乗用タクシー、航路、その他の輸送資源とする。

（２）利用状況調査

①バス利用状況調査

市内を運行するふれあいバス・コミュニティバス全路線とオンデマンドバスを対象に、平日・土曜それぞれ１日について全便の利用実態調査（調査員乗り込みによる利用者への乗車区間や利用頻度・目的、ＪＲ利用に関する質問等の聞き取り調査）を実施する。

また、路線バス事業者の協力のもと、ＩＣカードデータを基に乗降者数カウント調査を

実施し、利用状況を集計する。

②鉄道駅アクセス状況調査

市内３駅（東郷駅、赤間駅、教育大前駅）を対象に、平日１日の鉄道駅へアクセスするための交通手段について利用状況調査を実施する。アクセス交通としては、路線バス、自家用車（送迎）、バイク・原付、自転車を対象とする。あわせて、各改札口で全利用者数の計測を行う。

また、特急停車駅（東郷駅、赤間駅）において、特急列車の利用者数を調査する。調査はＪＲの協力が得られることを前提に、ホームにて実施するものとする。

③地域の輸送資源の調査

公共交通以外の地域の輸送資源の状況について、市の関係部署からのヒアリングや医療・福祉・商業施設等へのアンケート調査により把握し、連携や活用の可能性について整理する。

（３）調査結果の分析

①バス・鉄道の利用状況の分析

バス利用状況調査及び鉄道駅アクセス状況調査の結果をもとに、利用状況及び路線別の問題点・課題を分析する。

②航路利用状況の分析

市が提供する資料を基に、航路別の利用状況や問題点・課題を分析する。

③市民の移動実態分析

市が実施するアンケート調査結果をもとに、市民の移動実態や移動に関する課題の有無、公共交通に対するニーズ等について分析を行う。

（４）課題整理

①上位計画・関連計画との整理

市の上位計画・関連計画について、公共交通やまちづくりの視点から関連する事項を整理する。

②公共交通の問題点・課題整理

本市の公共交通の問題点及び問題点の解消に向けて取り組むべき課題を整理する。

（５）計画案作成

①計画期間・対象区域の設定

持続的かつ利便性の高い公共交通網を構築するために実施すべき事業を考慮し、計画期間及び対象区域を設定する。

②将来像・基本方針の設定

本市の地域公共交通網の構築に向けた基本方針を設定するとともに、公共交通網の将来像を設定する。

③目標の設定

本市の地域公共交通網の構築により達成すべき目標を設定する。

目標の設定にあたっては、上記計画・関連計画との整合性に留意するとともに、クロスセクター効果も考慮した目標を設定する。

④実施事業の立案

計画の目標を達成するために実施すべき事業を立案するとともに、それらの事業の優先度、実施時期、実施主体を定める。

また、実施事業の主体となる関係者と協議を行い、具体的な内容を記載し、事業の実現性を確保する。

⑤計画案のとりまとめ

宗像市地域公共交通会議にて、上記内容について協議を行い、協議の結果を踏まえて宗像市地域公共交通計画（案）としてとりまとめる。

（６）支援

①運営支援

法定協議会の資料及び議事録の作成を行う。協議会は、令和４年度中に計３回の開催を予定する。

②打合せ

業務の進捗確認のため、打合せを月１回程度実施し、打合せ協議簿を作成する。

③報告書とりまとめ

本業務を報告書にとりまとめる。

６．成果品

本業務の成果品は以下のとおりとする。いずれも紙媒体及び電子媒体で提出することとする。

①業務報告書	１式
②宗像市地域公共交通計画（案）	１式
③打合せ協議簿	１式
④その他発注者が必要と認める資料	１式